パートナーシップで進んでいるなぁと思う状態はどんな状態？

1班 いいたいほうだい

1 自然	2 人口	3 人材	4 情報	5 民意	6 まちづくり	
丸山公園の鯉を釣らせても減らない環境	人口が減ることを考えてまちづくりを考える。住みやすい町	人材育成	関心のある情報について随時入手できるシステムになっている	企業、町、町民が一体になっていく	まちづくりに対する前向きな考え方が必要	1 自然 2 人口 3 人材 4 情報 5 民意 6 まちづくり
北海道遺産を守っていく。町民全体でしている。	人口問題、環境問題などをキチンと理解してまちづくりを考える	経験豊富な（高齢者の）人材を上手につかってほしい	町民に広く情報を知らせる手段	役場 町民、企業、NPO、この間の手続きを簡単に	町の計画に自分が参加している気がしなかったのを、気にするように	
生物の多種多様を保っていけるまちづくりを考えること		計根別、開陽、養老牛との交流がある	町民が気軽に役場へ、役場職員が気軽に町民へ	各企業と町との話し合いで建物を決める。（今は同じ物が多数あるのでは）	あくまで自主的に参加	
			町としての問題点なども町民にわかりやすく知らしめている	一町民でも意見を述べる場、機会がある	話し合っただけでも形になっていない場合が多いのを形になるように	
				町と町民（町内会）との話し合いをもっと多くする。ふれあう	小中学生に将来のまちの姿について作文など募集。5年以上続ける	
					アイデアが出て行政は動かない。結局まともらないでお流れ～アイデアが実現するように	

パートナーシップで進んでいるなぁと思う状態はどんな状態？

2班 たわらまっぷパワーズ

その他	安心安全	自主性	情報の共有	コミュニケーション	奉仕	相互理解	共催	
中標津の歴史上の原点を感じることができ施設がない	防災・防犯啓発	役割分担（平等・偏らない）	広報・HPによる情報共有	意見交換が活発に行われる	営利を目的としない	相互理解しあう	開陽台等を一緒にPRしている	1 コミュニケーション
鉄道・水道・発電所 etc	防犯活動をしている	責任を持つ、押し付けない	情報公開がされている	役場で職員とあいさつを交わして、話ができる	ボランティア活動	観光牧場で酪農のイメージアップを図る	祭りに対して共有できる	
堆肥の2次利用資源・におい	町内会・学校・警察等の情報収集発信	自主性の尊重	町内会回覧板	気兼ねなく役場に行けること	ゴミの減量化、リサイクル、資源回収	困っていることを協力しあって解決する	祭り、イベント等の共催	
	こども110番		役場の2Fで町内会の資料を印刷しているとき	うちのまちは・・・うちの役場は・・・うちの病院は・・・といえること	子ども教育活動に協力している		冬祭り、夏祭りと一緒に働いている状態	3 相互理解 ↓ 奉仕の心
	パトロール 散歩				パートナーシップ。この言葉を変えられないだろうか		市街地の活性化対策を共有している	
							お互いの能力を生かし催しを成功している	
							目的を共有する	

パートナーシップで進んでいるなぁと思う状態はどんな状態？

3班 ケルンの水 ~ 地方自治の神髄 ~

1 行政のシステム	2 個別課題	3 方法論		
町の中心市街地の空洞化について町民と同じ認識で現在考えている。行政と町民がひとつになっている。	ボランティア団体の支援	児童公園等の整備をするときに町内会などと話し合いをしている。	地域力を養うような関係づくり。例えば、独居世帯などへは除雪のサービスがあり、それ以外の人は自分たちで除雪するしかない。しかし行えない人もいる。	<h3>1 行政のシステム</h3> <p>行政・議会・町民会議の3すくみをつくる</p> <h3>2 個別課題</h3> <p>経済基盤の整備 住民を巻き込んだ行政の意識改革</p> <h3>3 方法論</h3> <p>情報の公開と共有</p>
役場の人々が個人的に町民会議に参加している方はパートナーシップを感じる。	町の景観樹等の植樹の際に休みの日にも関わらず町民と一緒に活動している。更に輪を広げて行きたい。	経済界の1次2次3次経済構造を明らかにする。	行政が行う部分と近隣の人が協力していく相互があればこの地域で生活していきやすくなる。	
今回のように個人参加の町職員は立派だと思う。	町職員も文化体験活動に積極的に参加する。各種指導者不足	町税の業種別の納税額がわかるようにする。	民生委員などから地域の情報が入るように(相互の情報提供)常に行政ばかりが一方的に情報提供を行うだけでなく。	
町政懇談会等に町民が参加している	コミュニケーションの必要性。祭りに担当部署以外も参加する。川崎まつりは全職員参加	公会計改革の時代を迎えているので、バランスシートの導入。	今、行政との関係がインターネットで身近に感じられるようになっていることは良いことだが、ISDNの地域は街中と同じサービスを受けたいので通信を改善してほしい。	
今回の会議への参加者に役場の人が多く参加していることはすばらしい。	病院内にTQMのチームNST等をつくる。		インターネット(ホームページ)による情報提供や、各部署についての情報を共有している。	
個人的に参加しているのだから、たくさん意見を言えるような会議にしたほうがよい。	病院のありかた、他先生を含めて町民会議を開く。		情報発信が進んでいる。	
行政・議会・町民会議の3つの仕組みをつくる。各部署委員会に対応できるものとする。	町内会活動、地域の活動等に行政が積極的に関わっていく。		積極的な情報公開を行う。	
町民会議は議決権がないもの、提言の必要性を感じる。行政、議会の諮問機関としての性格を付与する。	企業と町役場、企業の意見とか考えていることを対応している。同友会、商工会 役場 中小企業振興条例		行政等に質問があれば回答をしている。	
行政が町民の声を受け入れる場所分析し、調整し、説明する。反映できるか町民の窓口となる部署が必要と思う	基幹産業を意識した活動が実践されてきた。(冬まつり、消費拡大) 今後行政の特色を出して一人一人がまちを売る営業マン活動を展開してほしい。			
大きな町の方向性を決める出来事(合併等)は町民会議で取り上げて情報とか意見を話し合う場	除雪を今後パートナーシップで進めたい。(各自家の前の歩道等の除雪)			

パートナーシップで進んでいるなぁと思う状態はどんな状態？

4班 風のたより！

その他		情報発信の整理	親しみのある役場（使いやすい、便利な・・・）	意見交換の場があり、反応のある対応	
役所のトイレをユニバーサルデザインへ（和洋）特に女性用	独居老人専用の住宅の整備	広報の配り方、身近な広報	行政職員はサービス業だと意識を持つこと。	住民の話聞く機会	<p>1 情報発信の整理</p> <p>2 親しみのある役場（使いやすい、便利な・・・）</p> <p>3 意見交換の場があり、反応のある対応</p>
町にお金落ちるような施設の整備	老人（人）が集まる場所がある	情報発信の整理	町民と行政の距離がある。親しみやすさがない	出前講座を通じ住民に行政の活動を理解してもらえる場のある状態	
町に遊び場がある	空き地の有効活用の推進	周知の仕方	昼食の取り方（職員は別室で）	住民と行政と一緒に活動している場がある	
安心して暮らせる、通える病院、	町有レジャーセンターの整備（若者含む）	情報伝達のスピード化、正確さ	職員配置のわかりやすい配置。住民に対して分かりやすいすぐに対応できる体制		
看板（広告）規制	福祉バスの復活	行政からの情報がつまらない。字が多すぎる	行政の窓口に対して、総合案内所の設置（たらいまわしは大迷惑）各部交代で		
養老牛温泉に写真を撮れる場所や石碑をたてる	黒塗公用車の廃止（町長車）	継続的な内容での広報づくり	行政側が批判を受け入れる体制づくり		
観光協会の活発化 観光部門の強化	P F I の推進（公住等）	人をひきつけるような広報の作成（イラスト、写真）インパクトのあるもの	表と裏玄関の使用。有効的な活用をすること		
行政と社協との（関連組織の）意思の統一	除雪費 1台に対する費用（単価）を明確にしてほしい				
遊戯施設の規制（パチンコ店等）	不必要な場所の除雪はいらぬ				
中標津ブランドの特産品工場の整備（乳製品等）	高齢者の家の除雪の判定基準をはっきりさせる。				
開陽台への夏スキー場の整備をする	新製品の開発				
養老牛温泉と他の養老と名のつくところの姉妹提携等をする	中標津ブランドをつくる				
青少年の育成					
広報とインターネット、アナログとデジタルの融合化 ーズ はなくならない。					

パートナーシップで進んでいるなぁと思う状態はどんな状態？

5班

しらかば

1 話し合い・共有・公開		2 対等な関係	3 楽しく活気ある暮らし		
この会議	このような会議に出る人。興味のある人が増えること	対等である	安心して暮らせる生活	情報公開。ハザードマップを出す時期	1 情報が公開され、共有し、話し合い、川の流れるように一団、一丸となる 2 対等な関係 3 楽しく活気ある暮らし ~支えあう暮らし~
町民会議とは・・・を議論していること	情報の共有	情報公開。役場から町民への忌憚のない要望	少子化対策	町内会清掃	
会議などへ参加すること	同じ情報をもつこと	行政と町民の不断の対話	暮らしや生活のために支え合っている	生涯学習	
自由な意見が言えること	インターネットをしなくてもインターネットの情報が入る(有料可)	対等な関係が築かれている	住民が気持ちよく住めると人口も増えると思えますが	親の責任として子どもの力に応じた教育をと、苦勞して進学させても少し高度な技術、知識を理解して故郷に帰ってきて生かす職場が無い。少ない(産業の育成)	
個人・企業・団体が望むサービスを提供してくれている状況	とても個人的なことから話あうこと	肩書きのない一般町民の声も真摯に受け止め対処しているのがわかる	条件不利地域でも人は暮らす。(地域コミュニティ)	冬まつりとか観光まつりとかは、町民、企業、役場(行政)がパートナーシップな感じがします。	
ベクトルの一致	情報公開。町民からの質問や意見要望の内容と結果	無名のおじさん、おばさんの一途な思いを反映すること	複数のNPOがまちづくりに参加している	夏祭り、冬祭りなどの祭り事業運営	
まちづくりに住民の方の意見が反映される仕組みができていること	情報公開。事業の予算や途中経過など 例 箱物の改築		ある有識者の言葉で政治(政治家)は正義を貫く人であるとの発言を聞いて身近な政治家、わが町の政治家		
一緒に問題や課題解決に取り組んでいる	知りたい情報が取り出せる		わが町の議員で正義に反する行為の未再三の辞職決議を無視するような議員はその職に留まるのは政治的正義に反すると考える		
他人の意向をよく聞きかつ自分の主張も十分に発言する(できる)雰囲気でありますように	情報公開。民間委託の事業の料金単価		町民のモラル向上を切に願う		
好きな人と協働できれば価値が上がる。	除雪・排雪		防犯		

パートナーシップで進んでいるなぁと思う状態はどんな状態？

6班 第3研修室

1 まちづくりは人づくり	2 職員の意識改革	3 情報の共有化	4 参画と提言の仕組みづくり		1 町づくりは人づくり 2 職員の意識改革 3 情報の共有化 4 参画と提言の仕組みづくり
まちづくり安心安全なまちづくりをつくるために、どう協力しあうのか・子どもの安全どう守るのか、協力の方法の具体例の話	町職員はまちづくりの専門家でなければならない	やろうとしても受け入れてもらえないものがある	顔の見える町（町民同士のつながり）	戦後60年の処方箋がほしい	
まちづくりは人づくり 青少年、子どもたち、スポーツとか	職員の意識改革の必要性	意思疎通できていない。（町民と行政）	個人主義の打開	方法の具体化の話し合い	
青少年の健全育成	職員のエキスパートづくり	パークゴルフ場草刈 無料ということはない。（使う側）	町民は自分が何をすべきか考える	全体が（日本）動く中で町民に町が相談するのか	
何もしない町民、全体としてむかう 公益的な考え、人としての学習 ひとづくり	原点に返ろう！ 職員のあり方（まちづくりの専門家）現場を知らない 町民のあり方	段差をつけてお金をとる提案をした	実態は厳しいが個人個人は人ごと！	接点をもつ進めかたを検討	
学校統合 地域の中心	とりあげてくれない役場	有料になった経過がわからない	意識のある人が参加している この会	公共施設の整備に向けて計画段階から参加	
農家、福祉も人材 教育の必要が大	役場職員 酪農家の皆さんのパートナーシップとは	現場の意見（町民の意見）を聞いてほしい	ゴミの無料化 個人主義 町民のあり方	役場の現状を住民に説明する（財政状況、収納率など）	
協働するものについて 教育 人づくり	人材育成 奨学金制度充実	中小の建築基本設計～町民（父母）参加	全体像が見えない		
通学区域はゆるくなった！	町全体でのこども育成	高歴化社会に向けての建物の位置	ジャンヌダルクのようなリーダーがいない	基幹産業の育成をどうするの（牛乳の生産調整）	
安全（子どもの）組織の見直しバラバラである	通学路の安全 マップの利用方法	ハードの時代は終わってソフト（人の教育）	なぜ協働しなければならないのか		
		情報共有 情報手段	イベントの共催		
		情報公開	町中の清掃活動		
			各町内会での収納率向上活動		